（様式10）

〔外国人研究者招へい事業〕
（エイズ対策政策研究推進事業）

（見本）

招へい研究実績報告書

1　招へいされた外国人研究者
　所属・職名（和文）：○○○○大学○○○研究施設（所）　○○○教授（○○○博士）
　　（英文）：
　氏　　名（和文）：○○○○○○　○○○○○○○○○
　　（英文）：

＜１行あけ＞

2　招へい申請者（研究代表者）
　所属・職名：○○○大学○○学部　教授
　氏　　名：○○　○○

＜１行あけ＞

3　受入研究者（研究代表者又は研究分担者）
　所属・職名：○○○○センター○○○○研究所○○○部長
　氏　　名：○○　○○

＜１行あけ＞

4　招へい期間：　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日（○○日間）

＜１行あけ＞

5　研 究 課 題：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究

＜１行あけ＞

6　研究活動の概要
　○月○日から○月○日までの間は○○○において○○○のメンバーを交えて○○○○○○に関し意見交換を行った。
　○月○日は○○○○において講演会を開催した（参加者○○○名）。
　○月○日から○月○日までの間は○○研究室において○○○○○○○○○に関する研究に従事した。

（目的、活動内容を具体的に記述すること）

＜１行あけ＞

7　研究課題の成果
　○○○○○○○○によって○○○○○○の点について○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
……
……
……
……

……
……
……
……
……
……○○○が得られた。

このうち外国人研究者を招へいしたことによって得られた効果（成果）は、……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……である。

＜１行あけ＞

８　外国人研究者のレポート（研究報告）は、別添のとおりである。

（注）１　用紙はＡ４判とすること。

２　ワープロ、パソコン等で浄書すること。

３　研究課題名は、招へい申請書（様式１）に記載した「外国人研究者と共同で行う研究課題」とすること。

４　研究課題の成果は、2,000字以上にまとめて記述すること。